

第1 全体評価:概ね順調

【小項目:全148件】A評価:3件 B評価:145件 (統合△3件 終了△4件 新規1件)

※R元年度【154件】A評価:11件 B評価:143件

令和2年度の年度計画に対する業務実績は、以下に示すとおりであり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施が困難であった業務等は、可能な限り代替措置を講じ実施した。教育、研究、地域貢献及びその他の業務のいずれも中期計画の進捗は概ね順調であることから、全体としても概ね順調であると評価する。

第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

1 教育に関する目標を達成するための措置 (P20~P29)

【大項目評価】年度計画:達成 中期目標の進捗状況:概ね順調

<主な取組>

- ・ 学生に対する本学の教育目標・教育方針の周知徹底やシラバスに基づく適切な授業運営及び成績評価
- ・ 授業評価アンケート実施による教育改善の推進や新たな科目の開講、グローバル化に対応するためのリモート留学の試行、アクティブラーニング室の活用
- ・ 教員の指導力向上のためのFD研修の実施、教室内設備の充実等による授業環境の整備
- ・ 秋田市での本学主催進学説明会、高校訪問・入学説明会等への参加
- ・ 大学院の志願者を確保するためのデータ分析士の履修証明プログラムの開設
- ・ コロナ禍における授業料の延納・分割が可能となる規程等の改正、食堂等でのモニタリングによる満足度の向上
- ・ 高等教育無償化制度への適切な対応
- ・ 県内企業バスツアーなどの様々な就職支援策を講じることによる高就職率を維持 など

【小項目評価:57件】A評価:2件 B評価:55件 (統合△3件 終了△1件) ※R1年度【61件】A評価:3件 B評価:58件

【A評価項目】

- ◆「授業やゼミ活動等により、アクティブラーニング室の有効活用を図る」(P21 No.14)
アクティブラーニング室が前年度を約50コマ上回る計379コマの活用
- ◆「良好な学修環境や教育研究環境を確保するため、学内のWi-Fi環境整備や講義室の情報機器更新等を進める」(P23 No.26)
Wi-Fi環境、コロナ禍でのオンライン授業環境、学内Live中継授業システムの導入準備等の学修環境の整備

2 研究に関する目標を達成するための措置 (P30~P32)

【大項目評価】年度計画:達成 中期目標の進捗状況:概ね順調

<主な取組>

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からWeb会議システムを利用した学外の人との交流などによる研究活動の推進
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からリモートによる海外研究者との交流などグローバルな視点の研究を推進
- ・ 公開講座の動画を閲覧できるメディアラボ等による地域還元
- ・ 青森市産官学連携会議との共同研究、民間企業からの受託研究、中泊町からの受託事業等による研究実施体制の充実 など

【小項目評価11件】B評価:11件 ※R1年度【11件】B評価:11件

3 地域貢献に関する目標を達成するための措置 (P33~P40)

【大項目評価】年度計画:達成 中期目標の進捗状況:概ね順調

<主な取組>

- ・ 地域貢献に関する研究助成費を教員や地域連携センター研究員に配分し、地域貢献活動を推進
- ・ 新たな自治体との連携協定締結、産業支援機関との事業の継続、スタートアップラボによる創業支援
- ・ 学生の創業・起業意識の醸成を図るためのセミナーの開催、学生による「全国地域ブランド総選挙」への参加
- ・ 公開講座の実施による研究成果の還元、高校生を対象とした高大連携特別講座等による連携強化
- ・ リモートによる海外研究者との交流や作品を郵送してのリモートでのワークショップ等国際交流の推進 など

【小項目評価37件】B評価:37件 ※R1年度【37件】A評価:5件 B評価:32件

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置 (P41~P43)

【大項目評価】年度計画:達成 中期目標の進捗状況:概ね順調

<主な取組>

- ・ 内部統制システムの運用
- ・ 青森市長と役員の意見交換等学内外からの意見聴取
- ・ 戦略的かつ機動的な運営体制の維持、内部監査の実施による適切かつ透明性のある大学運営
- ・ 他大学等の調査を参考に教員職員の人事評価の試行
- ・ 新しい財務システムの運用に合わせたマニュアルの見直しによる事務等の効率化
- ・ 学科・就職支援等の動画の制作・発信、本学のイメージ動画の制作準備等の積極的な広報活動 など

【小項目評価14件】A評価:1件 B評価:13件 (終了△1件) ※R1年度【15件】A評価:2件 B評価:13件

【A評価項目】

- ◆「業務方法書に沿った内部統制システムを運用する」(P41 No.106)
自己点検・評価の実施、監査の実施、新型コロナウイルス感染症に係る危機管理対策本部の設置・開催

第4 経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置 (P44~P46)

【大項目評価】年度計画:達成 中期目標の進捗状況:概ね順調

<主な取組>

- ・ 秋田市での本学主催進学説明会等、受験生確保のための広報活動
- ・ 外部資金・寄附制度その他収入の教育関連収入の確保
- ・ 費用対効果の関連から事業の見直しの徹底による経費の抑制 など

【小項目評価8件】B評価:8件 ※R1年度【8件】A評価:1件 B評価:7件

第5 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置 (P47~P48)

【大項目評価】年度計画:達成 中期目標の進捗状況:概ね順調

<主な取組>

- ・ 外部認証評価で明らかになった課題の改善
- ・ 青森市地方独立行政法人評価委員会からの意見への対応
- ・ 本学の財務状況等に係る情報をホームページで公表 など

【小項目評価4件】B評価:4件 ※R1年度【4件】B評価:4件

第6 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置 (P49~P52)

【大項目評価】年度計画:達成 中期目標の進捗状況:概ね順調

<主な取組>

- ・ 公立大学インフラ長寿化計画の策定、Wi-Fi環境の整備等による良好な学修環境の確保
- ・ 国際芸術センター青森において、「ねぶたアート創生プロジェクト」の作品の展示、子どもなどを対象とした創作体験の実施
- ・ 消防訓練やさすまた講習会の実施による危機管理体制の強化
- ・ 公的研究費ハンドブックの改正等をテーマにしたFD研修 など

【小項目評価17件】B評価:17件 (終了△2件 新規1件) ※R1年度【18件】B評価:18件

<凡 例>小項目評価の項目【公立大学法人青森公立大学事業年度評価実施要領(H22.3.30青森市地方独立行政法人評価委員会)】

A評価:年度計画を上回って実施している

B評価:年度計画を十分に実施している

C評価:年度計画を十分には実施していない

D評価:年度計画を実施していない